JTDNA
www.jtdna.or.jp

事業内容のご案内

INDEX

この協会について
協会の役割
PL 対策とは・・・
ガイドラインなど
検証事業
会員について
会員の活動
正会員資格について
検定講習のご案内
セミナー／勉強会
プロジェクトなど

内閣府認証 NPO 法人
日本テクニカルデザイナーズ協会

（日本テクニカルデザイナーズネットワーク協会は平成 22 年 4 月より名称が変わります）

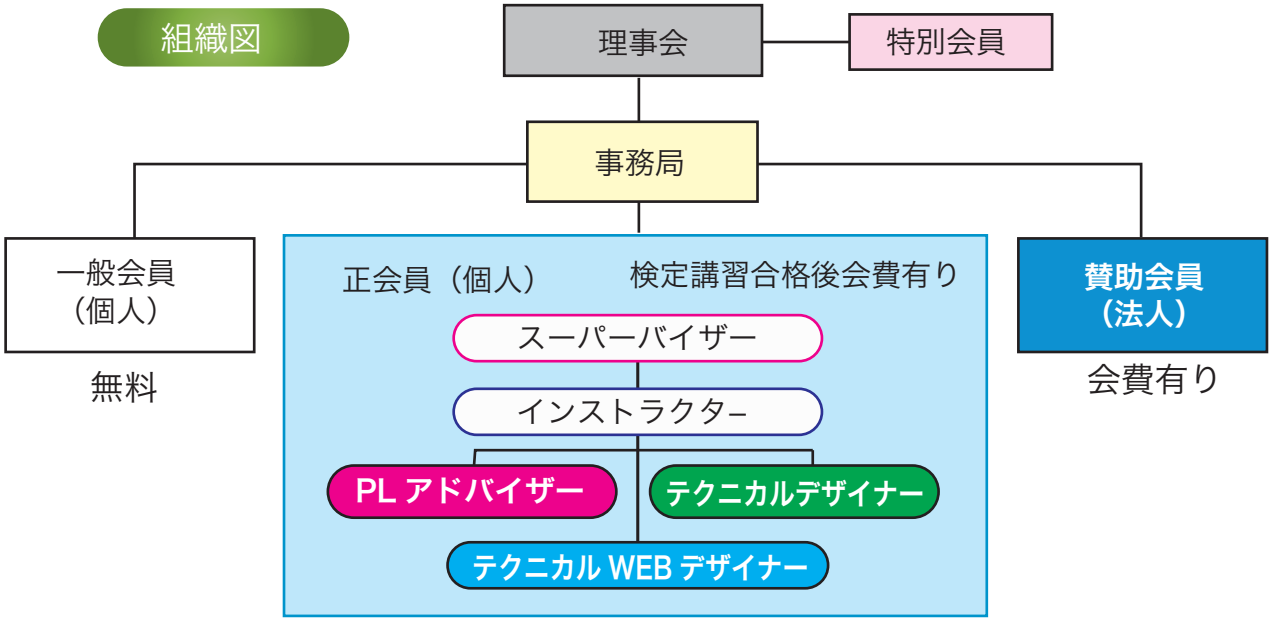
この協会について

製品安全の原点は「モノを作る人（技術者）」「モノを創造する時に使用者の事を第一に考え、正しく製品情報を伝えるデザイナー」「経営者」が正しいPL対策（後述）を理解し実践することです。そのためには「利益優先」ではなく「安全な製品を社会に提供する事業者の意識改革」と「製品を正しく消費する使用者側の自覚」が不可欠です。さらに情報社会では広告を作る、ネットショップを構築する、製品の正しい使い方を伝える、わかりやすい説明書を作成できるデザインスキルが欠かせません。この協会は「デザイナーの再教育」に重点を置き、業界・業態の枠を超えた消費者主体のPL対策を研究し、実際に事業者指導や消費者教育を支援している内閣府認証NPO法人です。

法人概要

名称　特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会（略称　JTDNA）
（日本テクニカルデザイナーズネットワーク協会は平成22年4月に上記に改名します）
本　部：〒171-0021　東京都豊島区西池袋3-22-5　パークスビル3F（仙台、大阪に支部あり）
事務局：〒173-0024　東京都板橋区大山金井町33-1（郵便物はこちらにお願いします。）
：c-japan@jtdna.or.jp
設立　2006年4月
組織構成員
理　事　長　渡辺吉明（R&Dスペシャリスト）
理　　事　山岸義彦（会社社長）
理　　事　田上哲也（会社社長）
事務局長　秦優子（保険代理店）
監　　事　野田泰永（税理士）
特別会員　窪千恵子（会社社長）
特別会員　佐藤聡（システムエンジニア）
特別会員　和田俊彦（元大学教授）
その他　会員　約30,000名（平成22年1月現在の推定累計）

組織図

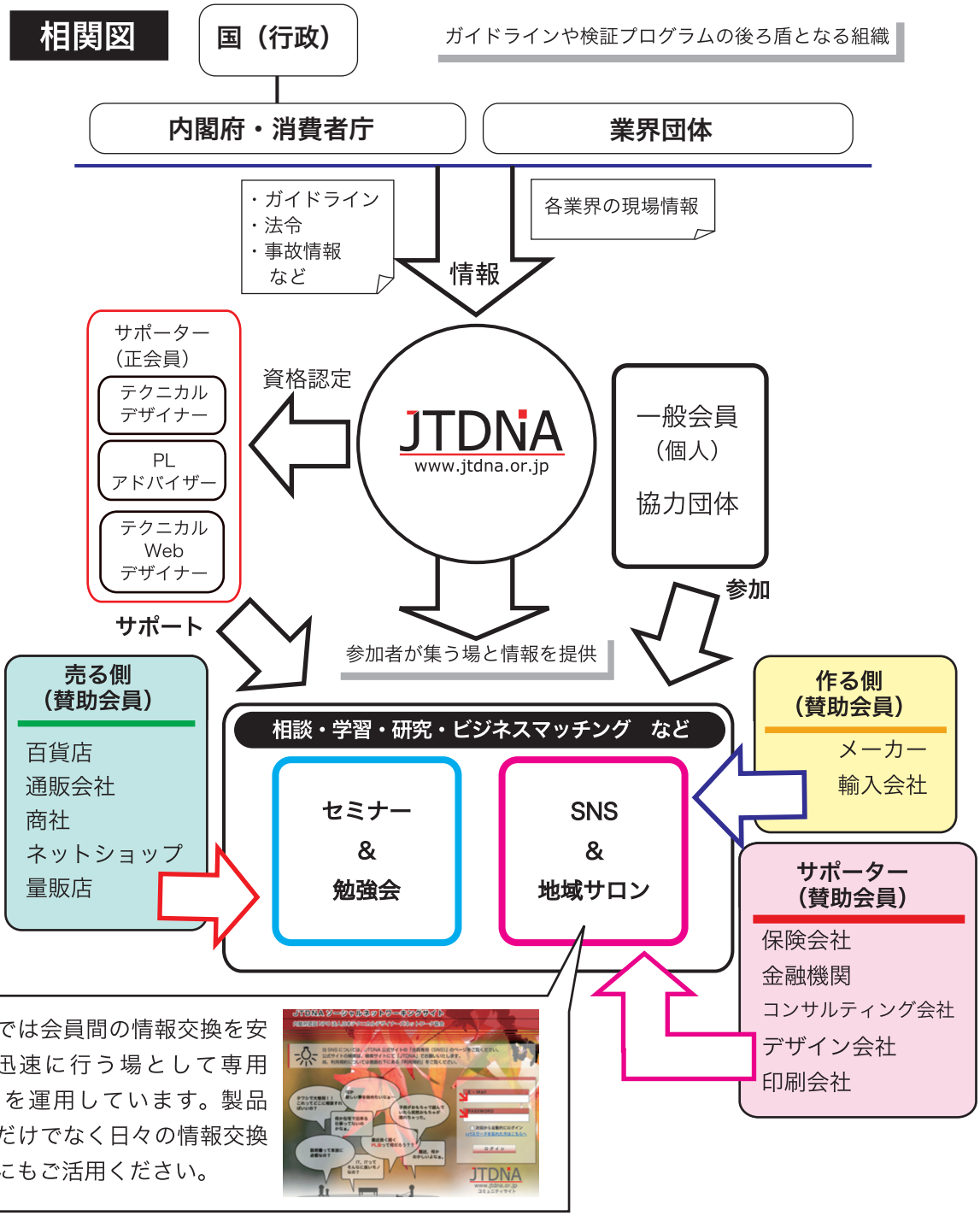


協会の役割

国や法律家に依存しない消費者視点の「PL（製造物責任）対策」の実現には、業界や会社などの枠を超えた経験豊かな方々や、想像力豊かな若い世代の方々の協業が欠かせません。エンジニアとデザイナーの役割を明確にし、各々が PL 対策を勉強し実務に反映させ、経営者や国などがそれを支援する仕組み作り、そのサポートがこの協会の最大の役割です。

- 取扱説明書のガイドライン策定
- それを利用した検証プログラムによる検証と評価
- 最新の PL 対策の研究と公表
- 製品情報などに関わる広告媒体などのコンプライアンス検証
- PL 対策やコンプライアンスなどの専従者教育
- 地域社会の IT 化支援など

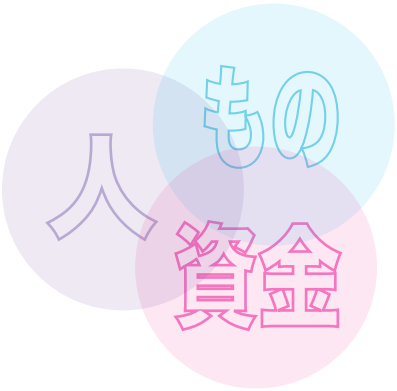
相関図



協会では会員間の情報交換を安全・迅速に行う場として専用 SNS を運用しています。製品安全だけでなく日々の情報交換などにもご活用ください。

PL 対策とは

企業は様々な商品を生み出し、その商品を消費（購入）してもらう事で利益を生み、その糧で多くの人が生活しています。ところが利益優先の経営手法を良しとし、社員をモノ扱いしたり、騙してでも利益をむさぼるような悪質事業者が後を絶ちません。そのような事業者のために商品流通の効率や低価格が最優先され、丁寧にモノを作っている人たちが自らの製品情報を正しく伝えられなくなり、それが元で「誤使用による事故」が頻発、大きな社会問題になっています。



本来の PL（Product Liability = 製造物責任）対策とは、製品（商品）を正しく消費してもらうために、製造者から販売者までが連帯して「その製品の安全性」に対する全責任を負い、万一事故になった場合は、被害者の救済を最優先することを示し、事業者の社会的責任（CSR）を全うする仕組みのことです。
また使う側の消費者も「安ければ良い、有名だから安心」などの安直な判断をせず、素性の確かなモノを適正な価格で購入し、しっかり使い切るという「自らの選択責任」を自覚しなければなりません。
この協会では、様々な観点から最新の PL 対策を研究、関係する全ての事業者に対する PL 対策指導と、消費者に対する PL 対策の普及啓蒙を実践しています。

- ●「取扱説明書」は読みやすいですか？
- ●ホームページなどで「商品リスク」を表示していますか？
- ●「寿命」をしっかり表示していますか？
- ●プロのアドバイスに耳を傾けていますか？
- ●最新情報を得ていますか？

最新の PL 対策で、消費者が安心して消費できるものを提供する、企業の社会的責任はこれが原点です。

※協会では「最新！ PL 対策解説書」を用意しています。

最新 PL 対策解説書とガイドライン

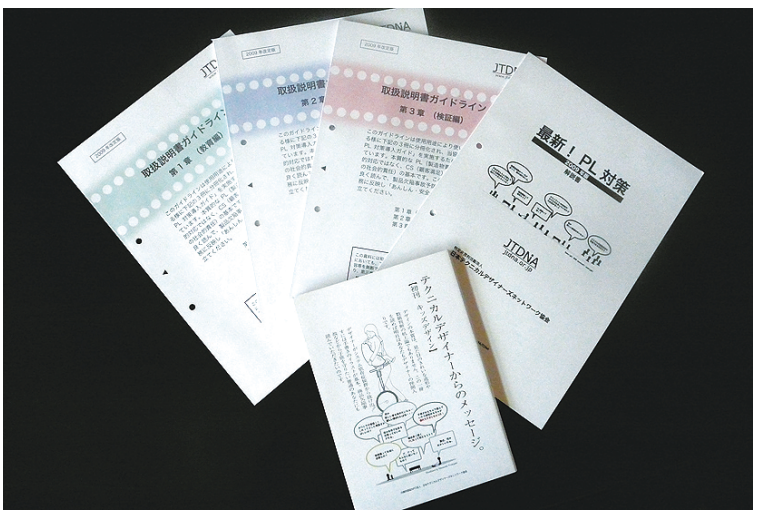
この協会では、各方面の専門家が集まり、最新の社会環境や法律などに合わせた「最新！ PL 対策解説書」を発行し、事業の基軸としています。
さらに、その中に記述されている PL 対策を効率良く短期間に全ての事業者に導入するための「最新！ PL 対策導入ガイド」をホームページに PDF データで公開しています。特に、誤使用などの事故を予防し、製品を正しく使用していただくための取扱説明書制作については、日本では唯一全ての製品に適合する「取扱説明書ガイドライン」を策定、出版しその基準としています。

■最新！ PL 対策解説書

司法中心の「PL 法対策」ではなく、全ての事業者が社会的責任として負っている【製造物責任】について、そのあるべき姿を解説しています。例えば「事故を予防するための対策」「事故が発生した場合の正しい対応方法を行うための準備」「消費者を考慮した適正な過失割合の算定方法」「被害者を救済するために求められる社会インフラ整備」などについて、当協会の事業骨子と共に説明しています。

■取扱説明書ガイドライン

【第 1 章（教育編）】
マニュアルとは何か、その中でも取扱説明書という書類の本質、役割、目的、など、現在の消費者保護社会でのその位置づけを定義しています。
【第 2 章（実務編）】
取扱説明書を例にして表示、表記の具体的な作成ポイントを、機能性などや最新の法律上の表示・表記の事例とともに記載しています。
【第 3 章（検証編）】
第三者検証を具体的に実施する方法を解説しています。取扱説明書の完成度を当協会独自の検証プログラムで評価する事ができます。製品の PL 環境も同様に客観的に評価することで、通常の品質検査などではわからない製品安全上の検証ができます。



協会より書籍出版しています。製造業、販売業、デザイン企画会社、印刷会社などの他、コンプライアンス教育などにご活用ください。

解説書　　1 冊　800 円
ガイドライン各 1 冊 1,260 円
（第 1 章～第 3 章）
税込み価格
仕上がり　A4

検証事業

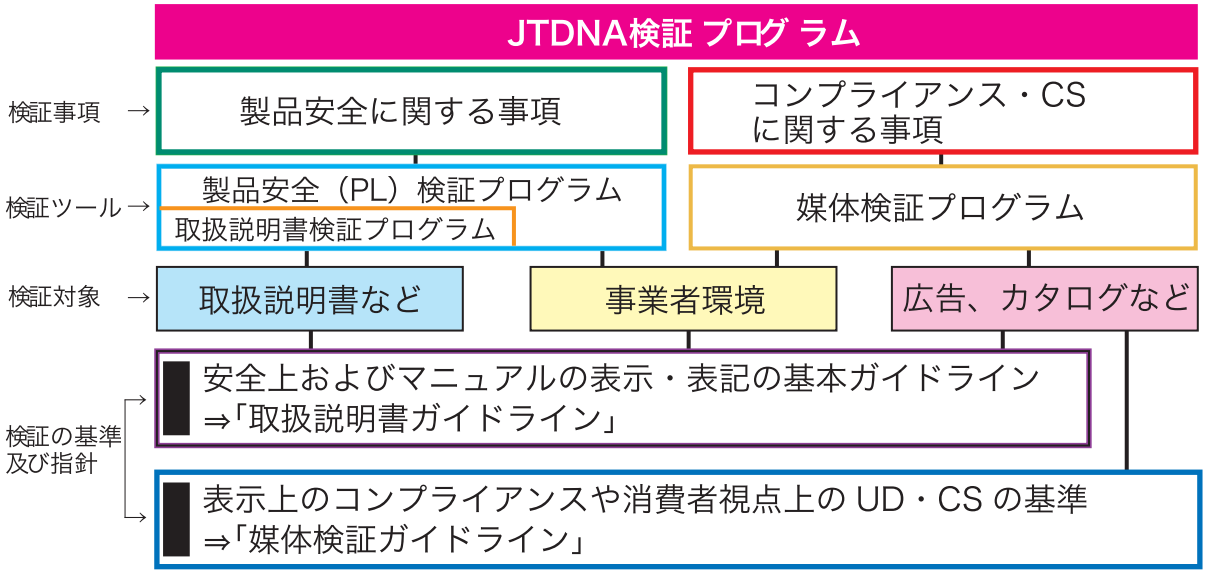
この協会の最も重要な事業として、消費者視点による「第三者視点の検証」を実施しています。

この検証は、当協会独自で運営しているSNSを駆使し、インストラクターの指導監督の元で複数の正会員がガイドラインに則り「検証プログラムソフト」を使用、公平な消費者視点で検証を実施し、結果をご提示します。この検証結果は100ポイントを上限に採点されます。さらにレーダーチャートにより不備・不足の傾向や改善すべき点をわかりやすく示し、改善前後の検証状況を客観的に把握することができます。さらにこの検証は企業内の社員の資質向上、消費者保護政策下でのデザインや法務、経営資質向上などのスキルアップにも有効活用することが可能です。
検証を依頼する場合は、いかなる場合も当協会の一般会員登録（会費不要）を行うなど所定の手続きを行うことが必要です。検証の証明書が必要な場合は、事務局が窓口になり有料で証明書の発行を行います。
協会事業を正しく理解し、検証終了後も継続的にスキルアップをするためには、検定講習（P.11）を受講されるのが最も効果的ですが、この検証を繰り返すことでもスキルアップを図る事ができます。

検証の対象

・PL環境検証
・取扱説明書検証
・媒体検証（広告物、通信販売カタログ、webサイトなど）

【検証事業の構成】

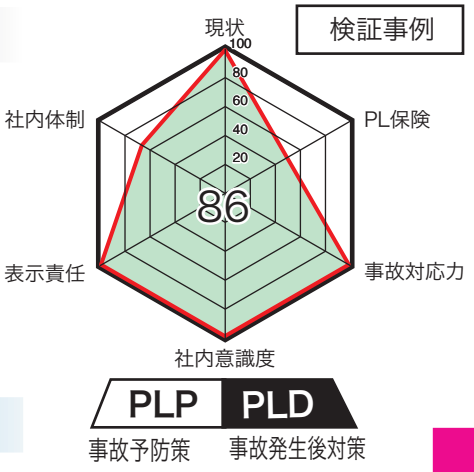


検証プログラム

従来、デザインや形の見えない PL 環境等は「抽象的な評価」は得られても「具体的な機能性・実効性」などを評価する方法がありませんでした。また誤使用に影響する「正しい使用方法の表示」や企業の「CSR などの経営体質評価」もデザインとは無縁と思われていました。そこで当協会ではこれらを客観的に評価検証するプログラムを作成、評価方法を確立しました。（詳細は【取扱説明書ガイドライン第三章（検証編）】をご参照ください。）

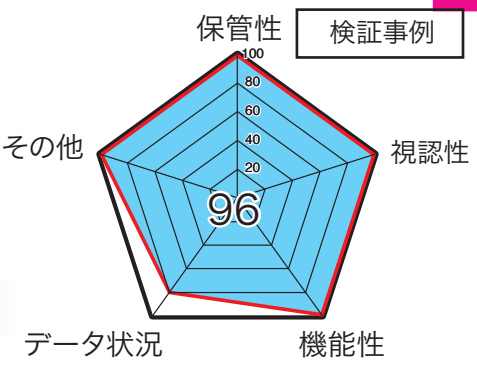
PL 環境検証プログラム

表向きの商品（製品）情報からはわからない、製品事故の予防対策（PLP）と、万一製品事故が起きた時にその商品（製品）に関わる事業者の事故発生後対策（PLD）を評価します。概ね 50 ポイント以下では誤使用などの問題を起こしやすく、事故発生時にも対応が遅くなります。一方、85 ポイント以上では誤使用は減り、社内の問題意識も高く、事故発生時にも迅速な対応が可能です。



取扱説明書検証プログラム

取扱説明書の内容、表示・表記方法などを当協会のガイドラインに照らし合わせて検証、内容を正しく消費者に伝えているか、取扱説明書としての機能を達成しているかなどを評価します。概ね 50 ポイント以下では誤使用などの問題を起こしやすく、85 ポイント以上では誤使用は減り、消費者からの好感も得られる事が実証されています。



媒体検証プログラム

広告媒体（通信販売カタログ、ネットショップなど）のコンプライアンス上の検証、そこから予見できる掲載商品の違法表示を検証します。専用 SNS を駆使し、秘守性高く、特定の担当者でリアルタイムに結果などを共有した消費者視点の検証と依頼者からの質問などに対応しています。検証する正会員は電気機械、家庭用雑貨、食品（健康食品も含む）、医療関連、衣料品などのスペシャリストです。既に大手通信販売事業者のカタログなど３年以上、年間約 1 万ページ、商品掲載点数 10 万点の検証を行っています。

検証の申し込みはホームページから。

jtdna 検証　検索

検証作業は秘守性の高い協会 SNS でリアルタイムに行われます。結果には検証証明書を発行、履歴をデータベース化しています。

会員について

当協会の会員は下記の通りです。
規定や申し込み、諸条件などはホームページをご参照ください。

■一般会員（会費免除）
この法人の目的に賛同いただいた個人です。積極的に参加される方は SNS にご自身の判断で個人情報を表示してください。
その他、アンケートなどで当協会の事業に賛同いただいた方について一般会員としていますが、協会として個人情報は収集保管しません。

■特別会員（会費免除）
この法人の経営について、理事会に意見や助言のできる方で、無期限、会費免除の会員です。
※認定には理事推薦による理事会承認が必要です。

■正会員（ランクにより会費必要）
検定講習受講後、正会員登録した個人で、下記の 3 種の資格があります。

【テクニカルデザイナー】
自らのデザインスキルに PL 対策、コンプライアンス知識を習得し、消費者保護政策下の正しい表示／表記を実施できるデザイナーです。

【PL アドバイザー】
当協会の PL 対策を理解し、かつ企業に対しガイドラインに即した PL 事故予防策（PLP）/ PL 事故発生後対策（PLD）について、迅速に適切なアドバイスが行えるアドバイザーです。

【テクニカル web デザイナー】
コンプライアンス違反を排除し、当協会のガイドラインに則った web デザインが実践できる web デザイナーです。

■賛助会員（規模などに応じ会費必要）
当協会の事業を理解し、協会の PL 対策やコンプライアンスなどの情報や検証の活用、正会員、賛助会員などの交流、相互協力などに賛同した法人や団体です。

会員の活動（SNS のご紹介）

当協会では、対外的に公表する公式サイト（メインのホームページとセミナー､事務局のブログ式ホームページ）とは別に、国内、海外（日本語環境）の方々が日々の生業などに影響を与えず、負担を軽減しつつ公平に情報を共有したり、相談から提案、さらに会員間でより踏み込んだ具体的で即効性のある事業展開を図れるよう､秘守性を高めた独自の SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を運営しています。

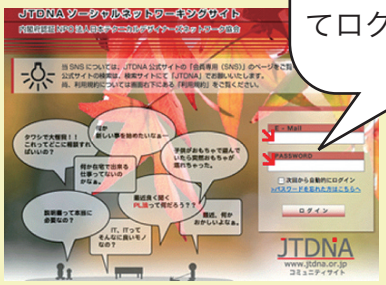
交流会開催

SNS への申し込みは：

jtdna ご入会手続き　検索

登録したメールアドレスを上段、初期登録したパスワードを下段に入力してログインします。

ログイン画面



バーチャルコミュニティ

製品安全、コンプライアンス事例、法律情報などが満載です。

SNS では個人、協会プロジェクト、理事会、会員同士のコミュニティ、媒体検証、会社や団体のバーチャルオフィスなど数百のコミュニティが運用されています。書き込みは設定により携帯メールなどへの自動送信も可能、メーリングリストではない「通信ネットワーク」も形成、セミナーや勉強会、会員間の交流会などにも活用されています。

正会員資格認定について

協会では検定講習にて「PL とは何か」「消費者保護政策に順応した表示（表記）の重要性、表示の目的や役割」などを学び「協会が推進する PL 対策が実践できる人材」としてふさわしいと認定された方に「正会員資格認定」を行っています。資格には「テクニカルデザイナー」「テクニカル web デザイナー」「PL アドバイザー」の 3 つがあり、検定講習ではこれらに必要な内容を「共通講習」と「専門講習」を組み合わせ連日 3 日間（テクニカル web デザイナーは２日間）実施、コンプライアンス教育と表示表記対策、PL 対策が実践できる人材を短期間で育成しています。

※資格取得に際し、他の資格を必要とする場合があります。11 ページの検定講習やホームページをご参照ください。

jtdna 検定　検索

テクニカルデザイナー

当協会の PL 対策を理解し、かつガイドラインに即した取扱説明書、広告やカタログ、web サイトなどのデザインスキルを反映、取扱説明書検証プログラム、媒体検証プログラムで８５ポイントの高品質な媒体制作ができるなど、消費者保護政策下の正しい表示／表記を実施できるデザイナーに与えられる資格です。

「コンプライアンス　法令順守！」の言葉に縛られ緊張して挑んだ講習でしたが、とても柔軟に考えることが大切だと気づきました。印刷会社はメーカーや販社の立場に近いのですが一人の消費者（生活者）としてその間を取り持ち伝える責任を感じました。これからも自分なりに地元に貢献したいと思います。

新潟県在住
野島利幸様（印刷会社勤務）

講習を受けるまでは「ＰＬ対策は賠償責任から逃れるための対策」と思っていましたが、「製造物責任を全うするための対策である」と認識できました。また「コンプライアンス」がとても大切なことだと思いました。さらなるスキルアップを目指して普及啓蒙活動ができればと考えております。

埼玉県在住
田所直也様（印刷会社勤務）

※H21 年後期検定講習参加者の声です。この方達の情報は SNS 内で確認できます。

テクニカル web デザイナー

法律やコンプライアンスを守る「正しい表示」とは何かを理解し、その上で「ホームページ、業務用ブログ等の管理（主に表示上）」を行うために必要な知識や技術を持つデザイナーに与えられる資格です。

講習では協会ガイドラインから始まり外部環境の法律、コンプライアンス、事例など多くの収穫を得ることができました。「知らないとこで行政は告示をしていて自身で情報を取りにいかないと知らずに取り残される」という現実を肌で感じました。スタートは切ったので後戻りはできません。先にあるゴール、いや結果に向けて走るのみです。

新潟県在住
渋谷政道様（印刷会社勤務）

PL アドバイザー

当協会の PL 対策を理解し、かつ企業に対しガイドラインに即した PL 事故予防策（PLP）/ PL 事故発生後対策（PLD）について、迅速に適切なアドバイスが行える人材に与えられる資格です。

昨今の経済情勢は極めて厳しい状況にあり印刷業も例外ではありません。むしろ他業界より厳しいと思われます。だからこそ、その厳しい環境の中で生き抜く、他の同業者が真似のできない力を確立したいとの思いから講習に参加し、PL 対策は印刷業と深い関係があることが理解できました。
この知識を今後の業務に活かしていきたいと思います。

埼玉県在住
渡辺欣洋様（印刷会社顧問）

講習前と講習後では、自分の意識や自分の身の回りに対する見方が明らかに変わりました。例えば消火器の本体表示の問題、説明責任の可否などについて考えるとき、以前の自分とは違う自分を見いだしています。今後は本業の生損保との整合性や生損保との相乗効果について、何らかのアドバンテイジを探し、業務に活かしたいと考えています。

東京都在住
大橋仁実様（保険代理店勤務）

検定講習のご案内

若い人は感性と最新のテクニックを、
経験豊かな貴方はその知識を活かす、
情報社会に最も必要な資格です。

正会員資格には「テクニカルデザイナー」「テクニカル web デザイナー」「PL アドバイザー」の 3 つがあります。本講習ではこれらに必要な学習を「共通講習」と「専門講習」を組み合わせて連日 3 日間（テクニカル web デザイナーは２日間）実施、コンプライアンスと PL 対策が実践できる人材を育成します。

２日目からワークショップです。

今、企業が求めているのは・・・
●最新の消費者保護政策に即応できる人材
●コンプライアンス管理のできる人材
●製品安全に関わる具体的表示・表記のできる人材
●製品事故対応のできる人材

【テクニカルデザイナーコース】※検定講習料 262,500 円（税込）

「取扱説明書の制作」を通じ、「マニュアルライティング」の基本、「消費者視点の表示・表現」や、「できあがった取扱説明書の検証方法」などが学べます。
※18 歳以上の方なら誰でも受講できます。
※基本的なパソコンの操作やインターネット環境が必要です。

【PL アドバイザーコース】※検定講習料 210,000 円（税込）

取扱説明書をはじめとする「表示」のあるべき姿や、PL 環境の社内体制の改善、保険環境の整備方法などを幅広く学び企業における PL 事故予防策（PLP）/ PL 事故発生後対策（PLD）の実践方法を学びます。
※事故相談や事業者指導などを行うため、専門知識を有する品質管理、取引先管理経験者や、企業リスクコンサルティングを行う保険募集人、各種士業（税理士、司法書士、弁護士、行政書士、中小企業診断士など）、医療関連資格などの「専門資格保持者」が対象です

【テクニカル web デザイナーコース】※検定講習料 157,500 円（税込）

「正しい表示とは何か」を理解した上で、「ホームページ、業務用ブログ等の管理（主に表示）に必要な知識や技術」や「表示の検証方法」などを学びます。
※18 歳以上の方なら誰でも受講できます。
※基本的なパソコンの操作やインターネット環境が必要です。

表示・表記はデザイナーの仕事、
製品事故予防や事故発生後対策は PL 対策の専門家に！
web デザインにも法的知識は必須です。

※公益団体（法人、学校などを含む）からのお申し込みには割引を適用します。
※身体に障害がある方については、諸条件を確認の上、３０～50%の割引を適用します。
（詳しくは事務局までお問い合わせください。）

検定講習

検定講習内容（変更する場合があります。）

1日目	テクニカルデザイナー	PLアドバイザー	テクニカルwebデザイナー
10：00～10：30	開催挨拶：協会の説明、講師紹介		
10：30～12：00	PL対策		
13：00～14：30	協会のガイドライン		
14：30～16：00	取扱説明書（マニュアル全般）の役割、目的など		
2日目	**テクニカルデザイナー**	**PLアドバイザー**	**テクニカルwebデザイナー**
10：00～11：30	コンプライアンス教育		
13：00～14：30	ガイドライン解説	PL対策の導入手順	実務指導
14：30～16：00			終了試験・面接
3日目	**テクニカルデザイナー**	**PLアドバイザー**	
10：00～10：30	検証とは何か		
10：30～12：00	取扱説明書検証／取扱説明書検証プログラム実習		
13：00～14：30	PL環境検証／PL環境検証プログラム実習		
14：30～16：00	終了試験・面接		

【申し込みからの流れ】

事前説明会に参加
↓
SNSに登録
↓
受講申込書提出
↓
受講書の送付
↓
受講
↓
終了後試験・面接
↓
修了書授与
↓
正会員登録手続き
↓
正会員登録

重要事項

- テキスト代は研修費用に含まれています。
- パソコンとネット環境があり、ワープロ入力ができるレベルの方を受講対象としています。
- 必ず事前説明会への参加が必要です。（賛助会員が申し込みし、その社員の方が受講する場合は不要。）
- 20歳未満の方は保護者同伴で事前説明会にご参加ください。
- 詳しい説明書と申し込み書面は、事前説明会にてお渡します。
- 事前説明会等の日程など、詳細は【JTDNA 検定講習サイト】のスケジュールに掲載されています。

首都圏開催会場
板橋グリーンホール
東武東上線「大山駅」下車徒歩5分
都営三田線「板橋区役所前」徒歩5分

jtdna 検定講習　検索

正会員になればいつでも専用SNSや勉強会などで先輩に相談できるよ！

セミナー／勉強会

東京、大阪、仙台、新潟県三条市などでは、当協会のスーパーバイザー・インストラクターが中心となり、協会ガイドライン等の説明や専用バーチャルコミュニティ（協会専用 SNS）内の最新情報などを提供するため、毎月セミナーや勉強会を開催しています。都市部では大手通信販売事業者や小売り事業者、消費地問屋の動向、広告現場のデザイナー、クリエイターや中央省庁などから得られた情報、それ以外の地方では地域に合わせた情報をアクティブに得る事ができます。

セミナーには主に製造者や販売事業者、それらに関わる印刷会社や広告会社、コンサルタント業や保険代理店など、勉強会は賛助会員、正会員が参加、具体的事例を元にした実務に直結する質の高い情報交換やリアルな意見交換の場としても活用されています。また、時に地方自治体や国と連携し、地域活性化、地域事業体との直接的な相談会、実施策の指導の場としても活用されています。

協会のガイドラインなどを使って、具体的な事例を参考に

・製品安全上の問題解決

・広告表示などのコンプライアンス対策

・製品取扱説明書やカタログの検証

などを毎回テーマを絞り実施しています。

セミナー／勉強会専用ホームページ

jtdna セミナー　検索

2009 年総会イベント「PL（製品安全）セミナー」の写真です。経済産業省製品安全課、JET、区議会議員、各種団体責任者の方にご参加いただきました。今回より表彰制度も開始、各事業者の取り組み成果を公表しました。

首都圏開催会場
板橋グリーンホール
東武東上線「大山駅」下車徒歩５分
都営三田線「板橋区役所前」徒歩５分

各種プロジェクト

当協会では、正会員、賛助会員などと関係事業者が協会の PL 対策を理解し、各々の実務で具体的な製品事故予防策に取組むと共に、流通商品とそれに伴う全ての媒体（本体表示、取扱説明書、カタログ、ホームページなど）にて所定の検証プログラムを実施するなど、協会が推進する PL 対策の有効性を示す事例となり、かつ社会的に意義あるプロジェクトと認めたものを「協会プロジェクト」として認定しています。（一般会員は参加できません。）
プロジェクトの定義は下記の通りとし、理事会承認を必要とします。

プロジェクトの定義

①社会インフラとしてのビジネスモデルになること。
②一社もしくは一事業団体内で完結できないこと。
③行政支援や行政と一体になり取り組めるものであること。
④具体的な事業として、単に研究ではなく、この協会の複数の賛助会員、正会員などが利益をリスクに応じて公平に分かち合えること。
⑤一切の不正行為、モラル違反のないこと。
⑥取り組みについては企画が確定した時点で、書面化し、クローズドでよいので、この協会 SNS の中にコミュニティを立ち上げること。
⑦協会の理事を必ず参加させ、協会にて進捗状況を確認できること。
⑧すでに活動を開始しているものにては、PDF 書面を公式サイトに公表する。
以上をもって協会の認定するプロジェクトとします。

■プロジェクト事例

・電子入札支援（終了）
・消防団通信システム（終了）
・町会自治会ホームページ支援（実施中）
・大規模商品開発（販売支援）実施中
・早期和解支援事業（ADR）など

■平成 21 年度プロジェクト事例■
「大規模商品開発プロジェクト」では三条市鍛冶道場での７月８月の事前セミナー、９月のシンポジウム、１１月のフォローアップセミナー実施と賛同者による大手通販事業者への商品販売企画支援を行っています。

職人のまちシンポジウム 検索

【通販事業者に向けた持ち込み媒体企画事例】
ネットフロントに即した三条の著名な鍛冶職人の和包丁をテーマにしています。

事業内容のご案内

INDEX

- この協会について
- 協会の役割
- PL 対策とは・・・
- ガイドラインなど
- 検証事業
- 会員について
- 会員の活動
- 正会員資格について
- 検定講習のご案内
- セミナー／勉強会
- プロジェクトなど

JTDNA

内閣府認証 NPO 法人　日本テクニカルデザイナーズ協会

jtdna　検索

☎03-5875-6175　FAX：03-5175-6176
c-japan@jtdna.or.jp

©PROCONSULTS2010.1.22JTDNA